

12-1. Withコロナでのコンベンション開催事例

ツーリズムEXPOジャパン旅の祭典in 沖縄

Withコロナの下、各国・地域、日本国内の観光市場回復に向けた反転攻勢の機会として、また「旅のチカラ」で日本をそして世界を元気にする観光需要回復の最大の機会として開催 → **観光交流による成長を全国に波及させる「旅の祭典」**

催事名	ツーリズムEXPOジャパン旅の祭典in 沖縄
会期	2020年10月29日(木)～11月1日(日) (業界日: 10/29-30、一般日:10/31 - 11/1)
会場	沖縄コンベンションセンターエリア 海浜公園内周辺施設(宜野湾市多目的運動場など)
主催	公益社団法人日本観光振興協会 一般社団法人日本旅行業協会(JATA) 日本政府観光局(JNTO)
併催催事	ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市



来場者数 総来場者数：24,174人

日付	天気	展示棟・多目的運動場	劇場棟 (開会式 フォーラム他)	会議棟 その他	劇場棟 (映画上映会)	多目的広場 (死子の島々)	計
10月29日(木)	晴	1,493	622	82	****	****	2,197
10月30日(金)	晴	1,853	****	585	****	****	2,438
10月31日(土)	晴	8,305	****	266	****	523	9,094
11月1日(日)	晴	9,689	****	245	511	****	10,445
4日間合計							24,174

※来場者数には同時開催イベント (ResorTech Okinawa、島ぜんぶでお〜きな映画上映会、死子の島々) を含みます。

感染症対策事例

- ①各種ガイドラインの徹底
- ②参加者の事前登録制
- ③COCOAの導入の要請
- ④発熱、混雑検知などIT、IOTソリューションの活用

コロナ対策（安全安心なイベントモデル）

会期中

■ 検温・消毒・QRコードでの入場者数管理



■ ソーシャルディスタンス



コロナ対策（安全安心なイベントモデル）

会期中

■ 商談会&来場者対応



飛沫防止パーテーションの設置



飛沫防止カーテン設置とフェイスガードの併用



オンライン商談の様子

■ 新型コロナウイルス接触アプリ「cocoa」

沖縄県新型コロナ対策パーソナルサポート RICCAの告知



入場口でのcocoa告知



入場口でのcocoa告知

■ ITソリューションの活用



検温対応可能な会場案内ロボット
(サーマルpepper)



お掃除ロボット

コロナ対策（安全安心なイベントモデル）

■シャトルバス運行におけるコロナ対策

- 当日の検温実施【来場前（各自）、バス乗車時・入場時（係員対応）】
⇒ご来場前の検温時に37.5度以上の方は、来場自粛。
⇒バス乗車時、会場入場時に37.5度以上の方は、入場禁止。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ（cocoa）を活用要請。
- バス乗車時、会場入場時のマスク着用のご協力要請。
- 手のアルコール消毒の実施。
- 首里城レセプションの際には、駐日大使が乗車するバスには、**防護シールド設置**のEVバスを投入

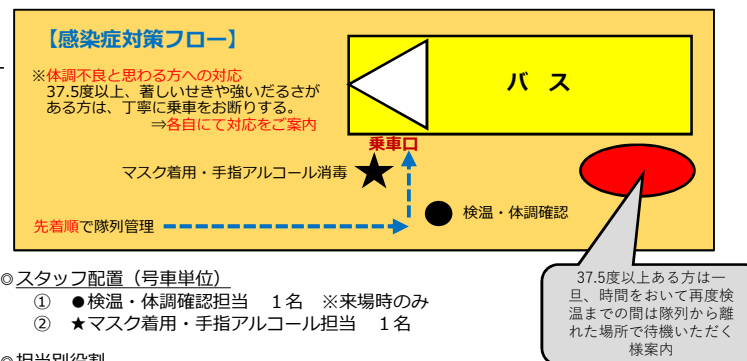


EVバス外観



EVバス車内（防護シールド設置）

「那覇市内・宜野湾漁港」を出発時に完全実施



お客様ご自身でご連絡いただく様ご案内する

感染の疑いがある方

県外の方

県内の方

「旅行者専用相談センター（TACO）」
電話：098-840-1677（営業時間6:00～23:00（無休））

症状・手防衛の相談は…
コールセンター 098-866-2129
（24時間対応でも利用できる）

主要の疑いがある自治体

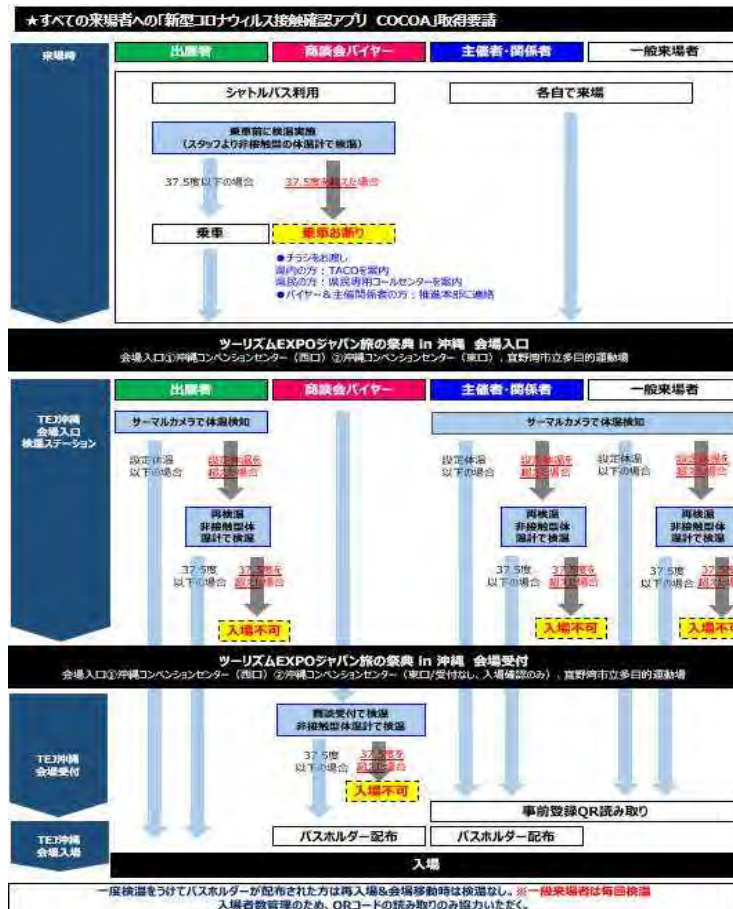
北部保健所	0980-52-5219
中部保健所	098-938-9701
南部保健所	098-889-6591
宮古保健所	0980-73-5074
八重山保健所	0980-82-4891
那覇市保健所	098-853-7971

【アプリのダウンロードを推奨】

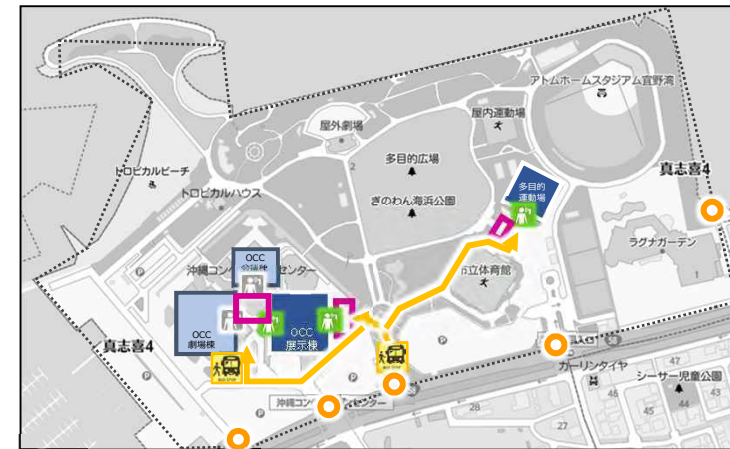
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（cocoa）をご活用ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html20

コロナ対策（安全安心なイベントモデル）

会期中



■会場における動線・検温実施について



- : TEJ入場導線と待機列
- 🚌 : シャトルバス乗降口
- 📷 : サーマルカメラ
- 📄 : 検温ステーション（展示チーム手配）
- 📄 : 検温ステーション（商談・フォーラムチーム手配）
- 🍽️ : 飲食エリア
- 📍 : 敷地内入り口

■屋外の飲食エリアにおけるコロナ対策



サーマルカメラによる検温



キャッシュレス決済



換気の良い屋外での飲食

コロナ対策（安全安心なイベントモデル）

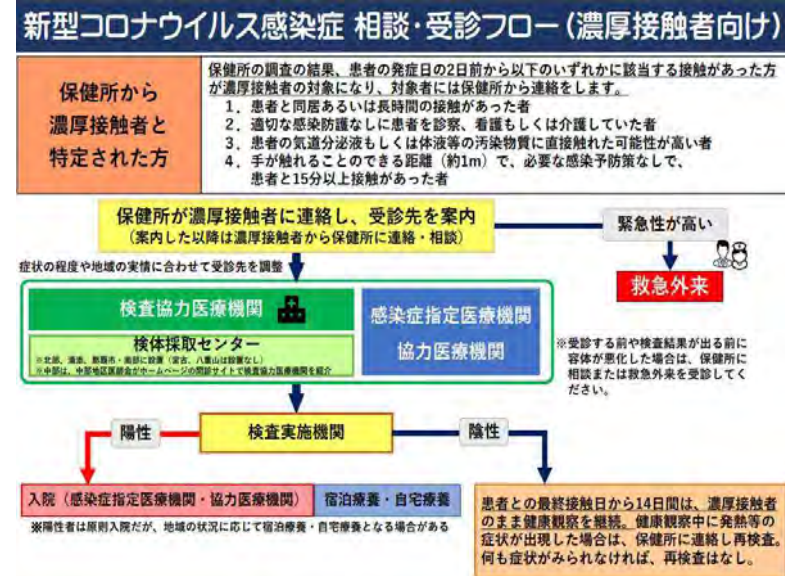
会期中

保健所から濃厚接触者と特定されていない方向け



* 沖縄県ホームページより

保健所から濃厚接触者と特定された方向け



* 沖縄県ホームページより

現地取材してきた「ツーリズムEXPO2020」、観光産業が復活に決起、感染予防を徹底した新時代MICEのカタチ

2020年11月01日 #ツーリズムEXPO #2020年イベント #レポート

初めて沖縄で開催された今年のツーリズムEXPOジャパン（TEJ）。観光の復活に向けた情報発信にとどまらず、withコロナ時代に感染防止対策を徹底しながら大型イベントを成功させる大きな挑戦でもあった。コロナ発牛後、BtoB商談会だけではなく、一般消費者も対象に開催する例は世界でも初めて。TEJが挑戦したニューノーマルな大型MICEを、写真で振り返る。



検温・消毒・QRコードでの入場者数管理

今年のTEJは、開催前から違いがみられた。入場者は業界日・一般日ともに、すべて完全予約制。公式サイトで事前登録した人に、QRコード付き入場者証を発行した。

会場の受付や入退場口もニューノーマルスタイルに。受付にパーテーションと消毒液が置かれているのはもちろん、会場の入口前には来場者一人一人の体温をチェックする検温ステーションを設置。その後、来場者のQRコードをスキャンし、会場内の人数管理を行なった。

今年の会場は、メインの沖縄コンベンションセンターの展示場と劇場、会議棟A・Bに加え、宜野湾市多目的運動場など宜野湾海浜公園一帯に点在する分散型。いずれの会場も入場口と退場口を分け、入退場の都度にQRコードをスキャンして、各会場内にいる人数を管理した。



商談会はハイブリッド型に、「旅のエチケット」普及も

開会式や基調講演、フォーラムなどを行なった会場では、座席は1席空けて使用。展示会場では、昨年までのような華やかな仕掛けのブースは少ない代わりに、商談会用のテーブルに感染防止のパーテーションを設けたり、現地とつなぐリモート商談用のブースを設置するハイブリッド型の出展者もあった。



商談には、感染防止のパーテーションを配置

出展者のひとつ、長野県観光機構（長野DMO）販路・市場開拓部長の森本忠則氏によると、初の試みでも「全く違和感がない」と話す。「オンライン商談では事前予約制をとっており、ブースでしっかりと話すことができる」と、ハイブリッド型展示に手ごたえを感じていた。バイヤーからの問い合わせでは、現地の観光スポットに何があるのか、丁寧に確認する傾向が以前よりも強いといい、ニューノーマルへの対応を機に、基本に戻って商品を開発しようとする姿がうかがえた。

12-2. Withコロナでのコンベンション開催事例

JANOG46 OKINAWA

開催期間：2020年8月26日(水)～28日(金)

会場：本会場・展示会場 ロワジールホテル那覇

主催：日本ネットワーク・オペレーターズ・グループ

参加者：現地参加者160名 オンライン約1000名

※当初は国内外からの関係者600名の参加を予定

JANOGとはJAPAN Network Operators' Groupを意味し、インターネットに於ける技術的事項、および、それにまつわるオペレーションに関する事項を議論、検討、紹介することにより日本のインターネット技術者、および、利用者に貢献することを目的として開催。

携帯型サーモグラフィー



事前登録制によるQRコード受付



ソーシャルディスタンスを確保した配席



参加者登録No付チケット制を導入
(参加プログラムへ提出する仕組)



コロナ対策の一環で飲物提供に代わって沖縄の菓子詰を提供



沖縄県からのギブアウェイ
かりゆし柄マスク

